

研究実施のお知らせ

2025 年 7 月 14 日 ver.1.0

研究課題名

人工股関節全置換術後早期の疼痛強度および心理スコアと 3 ヶ月後の患者立脚型評価の関連を明らかにする後方視的研究

研究の対象となる方

2024 年 6 月から 2025 年 4 月までに島根大学医学部附属病院で変形性股関節症に対して、人工股関節全置換術受けられ、3 ヶ月以上通院が可能であった方を対象とします。

研究の目的・意義

変形性股関節症に対して人工股関節全置換術は一般的な治療法です。多くの場合で術後の結果は安定していますが、一部の患者さんでは術後に痛みや機能障害が残り、満足度が低い方が一定数おられます。この身体的な回復と患者さんの主観的な満足度の差には、痛みに対する考え方や不安といった心理社会的要因が関わるといわれています。人工股関節全置換術後患者さんの術後早期の痛みの強さや心理状態が術後 3 ヶ月後の患者報告型評価（JHEQ）とどのように関連するかが明らかになれば、術後早期の患者さんに対する痛みの管理や心理状態に応じた対応を改善することで、手術成績の向上に繋がる可能性があります。

研究の方法

この研究は、当院の人工股関節全置換術の術後患者のデータを用いて、術後 3 ヶ月の患者立脚型評価（JHEQ）と術後早期（14 日以内）の疼痛、心理スコアとの関連性を明らかにします。具体的には、電子カルテ情報から年齢、身長、体重などの個人データ、筋力や関節の動く範囲、疼痛強度、心理スコア、JHEQ などの医療データを用います。診療で用いた検査結果のみを使用するため、研究のために新たに検査を追加することはありません。抽出したデータを統計解析して分析します。患者様の個人情報個人を特定できないようにし、研究対象者リストは研究責任者が保管します。

研究の期間

2025 年 8 月 25 日～2027 年 3 月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院リハビリテーション部が行います。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 田中和喜

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026年3月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部 田中和喜

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2457